

動画はこちらから→



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

地域の課題や活性化、その先は・・・

現状を把握して取組む



今後の駅前通りの活性化は

質問 舟形町に住む多くの方から舟形町だけで完結するような商業施設やドラッグストア又はコインランドリーが必要との意見があります。今期においては金融機関のATMの撤退、更には産直まんさくの閉店も重なり利用者や購入者に影響が生じてくるのではないのか。デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、誰もが便利で快適に暮らせ

る舟形町を目指す絶好の機会ではないのかと思うが町長の考え方を伺います。
町長 町内の小売店の数は、3月1日現在で28店舗です。商業施設やドラッグストア・コインランドリーの必要性については、町広報紙において、夜間も対応可能なドラッグストアの誘致についてご意見をいただいております。

質問 舟形町の人口動向分析では、10年後には4,000人を下回る推計値が示されています。それに比例してくるのは、空き家の増加と考えますが、

人口減少問題で 空き家の活用は 助成と補助で取組む

ます。町としまして、東北農林専門職大学の教職員及び学生の移住に加えて、今後の移住定住の推進においても、商業施設については必要性を感じ、事業者をはじめとした関係者にお話をしております。今後も引き続き取り組んでまいります。
また、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した商業施設の整備については、運営主体や事業者との十分な協議も必要でありますので、まずはがみ南部商工会などの関係機関を通じて、現状を把握してまいりたいと考えます。

今後どのような対処を考えているのか町長に伺います。

町長 町内には3月1日現在で100件の空き家があると把握しております。空き家等の解体に対する助成制度と、空き家バンクによるマッチング

やリフォーム補助を継続し、必要に応じて民間事業者と連携した、空き家のリノベーションを行いながら、空き家対策に取り組んでまいりたいと考えております。



空き家を活用して交流サロンに改築予定

←動画はこちらから



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

農家の支援と農地の将来について

やる気のある農家を支援する 農地の活用について議論を深めたい



再利用が待たれる「まんさく」

町長 町はJAから、まんさく廃止の申し入れなどを受け、改めて継続を依頼したところですが、

質問 畑地化と団地化の町の考え
地区ごとの農地利用の畑地化と団地化の方針において農家各々が畑地化すれば次第に水田地帯に虫食い状態の畑が存在してくると思われま

町長 現時点では町としての取り組み方針はなく

質問 多面的機能支払交付金
現在、地域計画の策定作業に入っておりますので、将来の農業のあり方や、農地の効率的かつ総合的な利用を図るために、誰がどの農地を利用していかかを一筆ごとに定める目標地図をこれから作成していきます。

町長 令和5年度は、18保全会で面積737ha、事業費2805.5万円を事業を実施しています。町全体を対象農地とした場合の面積は1340

積極的に進めているものでもありません。国が行う畑地化を支援する事業について、そのメリットを受けたい方から申請していただいている状況です。

今後、多面的機能支払交付金事業を町全体の水田を対象にし、地域ぐるみで保全していく必要があると考えます。

町では、取り組んでもらえるようPRしてきましたが、事務の煩雑さや農地を荒らした場合、さかのぼって交付金の返還を求められることを恐れず、取り組まないのが現状です。



整備され利用価値が高まる水田